

令和元年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 市民生活部市民協働課

施設名	弘前市宮川交流センター
施設の設置目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいづくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図るため。
所在地	弘前市大字堅田二丁目2番地6
指定管理者名	和徳学区町会連合会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね適正な管理運営が実施されている。</p> <p>また、施設内外の環境美化など、利用者の利便性の向上に繋がる施設運営に努めている。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>「春爛漫 ダンスパーティー」(参加者113名)をはじめ、年間5回の自主事業を実施し、50名以上の参加者を集めており、積極的に高齢者に対する生きがいづくりの事業を推進している。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>伝承室の木製テーブルにニスを塗って保護するなど指定管理料を工面して、施設をより利用しやすいよう工夫をするなど、環境美化に努めている。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>利用者からの意見を把握するため、アンケートにて施設に関することなどを調査した。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>令和元年度の利用許可件数は2,743件、利用者数は28,879人となっており、利用許可件数は前年度を上回る数値となっているが、利用者数は前年度を下回る数値となっている。(参考:平成30年度 利用許可件数2,693件、利用者数30,073人)</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>施設の管理に支障がないよう経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。</p>

7 実地調査の結果

施設内外の維持管理、各種書類の作成・保管の整理、経理の状況等適正に実施されていた。

8 成果指標の達成度

利用件数・・・目標件数2,652件に対し、利用件数が2,743件のため、達成度は103.4%
利用者数・・・目標利用者数31,920人に対し、利用者数が28,879人のため、達成度は90.5%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	かなり評価Aに近いと判断できる。	今後も適正な施設運営に努めていく。
施設の管理	B	いずれの項目においても満足できる。	今後も適正な施設運営に努めていく。
経理の状況	B	いずれの項目においても満足できる。	今後も適正な経理状況を維持していく。
団体の財務状況	B	問題はない。	今後も安定した財務状況を維持していく。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	協定書・基準書等の内容に基づき、概ね適正に実施している。また、自主事業を積極的に実施し、高齢者の生きがいを推進している。	今後も、適正な管理に努めていただく。
施設の管理	A	施設内外の環境美化や維持管理を徹底している。また、個人情報や文書等の管理も適切に行っている。	今後も、適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	今後も、適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も、安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する